

PQA事業

共に持続可能な未来へ向けて 最も信頼される品質保証の First-to-Call カンパニーになる

取締役 常務執行役員
PQA事業グループ
プレジデント
新美 眞澄



SWOT分析

2020年度は新型コロナウイルス対策への投資を優先し、検査機器等の設備投資を延期する動きが一部のお客さまに見られましたが、ワクチン接種の進捗とともに正常化に向かう見込みです。コロナ後の環境変化を機会と捉え、飛躍のためのイノベーションを起こしていきます。

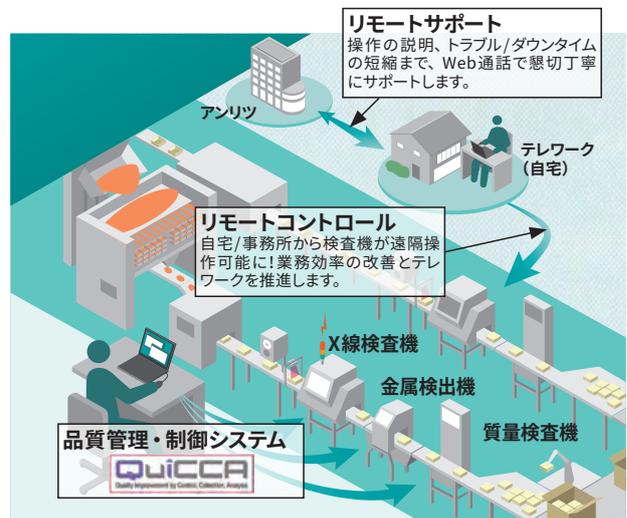
<ul style="list-style-type: none"> 生産ライン上での高速高精度な品質検査技術 多様な現場環境に検査機を適応させるエンジニアリング対応力 直接展開地域の充実した保守サービス体制と熟練技術者 国内食品検査市場における実績とトップクラスの市場地位 ローカル5Gなど他事業とのシナジーによるイノベーション 医薬品製造市場に応用可能な基盤技術の保有 <p style="text-align: right;">強み S</p>	<ul style="list-style-type: none"> 欧州などの事業展開がまだ十分でない地域における市場認知の低さ 海外医薬品市場での認知の低さ <p style="text-align: right;">弱み W</p>
<ul style="list-style-type: none"> 「安全・安心」な食品に関するニーズの世界的な高まり 衛生向上を目的とした生産ラインの無人化/省人化 家庭内消費へのシフトによる加工食品の需要拡大 人工知能やIoTなどの革新的技術の急速な発達 <p style="text-align: right;">機会 O</p>	<ul style="list-style-type: none"> 欧米などの大市場における強力な競合 変異株等による新型コロナウイルス感染の再拡大 <p style="text-align: right;">脅威 T</p>

事業領域

PQA事業は、世界の食品・医薬品産業に向けて品質検査機器や管理制御システムなどの開発、製造、販売、保守サービスを提供しています。

世界の主な市場において、多種多様なお客さまの課題やご要望を受け止め、迅速かつ柔軟に対応するために、事業体制のローカライゼーションを進めています。

食品産業では、従来からの課題である「安全・安心を約束する品質保証」や「生産性の向上と安定供給」に加えて、「食品ロスの低減や脱プラスチック」など、持続可能な社会



アンリツのPQAソリューションは、食品や医薬品の「安全・安心」や「お客さまの生産性向上」にとどまらず、持続可能な社会の実現に向けた課題である「食品ロスの低減」に貢献しています。

PQAのフィールドである品質保証分野で、“「はかる」を超える。限界を超える。共に持続可能な未来へ。”を実践するために、お客さま企業の重要課題を解消するオリジナルでハイレベルな品質保証のソリューションを追求しています。また、世界の多様なニーズに迅速かつ柔軟に対処するためにローライゼーションを進めるとともに、食品分野で培った技術を医薬品分野に拡張して、さらなる成長と事業価値の向上に取り組んでいます。

の実現に向けた、目に見える取り組みが求められています。

このようなお客さまの課題解決に貢献すべく、従来の品質検査の枠組みを超え、お客さまの生産ライン全域をカバーするシステムソリューションの開発に積極的に投資しています。

市場環境と事業機会

2020年度はコロナ禍においても日常生活の基盤を担う食品・医薬品企業は休むことなく操業を続けておられましたが、感染拡大防止の観点からお客さま工場への立ち入りを自粛せざるを得ず、多くの商談に遅れなどが生じました。また、新型コロナウイルス対策に関する投資を優先するために、検査機器等への設備投資を延期する動きが一部のお客さまに見られました。

食品市場を地域別に見ると、日本市場ではインバウンド需要急減速のあおりを受け、菓子や化粧品、外食産業などのセグメントが低迷しました。一方、冷凍食品やレトルト食品、即席めんなど、家庭用食品の需要が拡大し、人手不足の解消や衛生面の品質維持のための自動化設備への投資が拡大していますが、多くの商談に時間を要しています。

アメリカをはじめとする米州各国は、最も深刻に新型コロナウイルスの猛威にさらされましたが、計画投資を続けるグローバル顧客や食肉市場などの需要に支えられ、上半期のPQA関連需要は前年を上回る水準で推移しました。第3四

半期には多くの顧客が新型コロナウイルス対策への投資を優先したことにより一時的な需要の落ち込みが見受けられましたが、現在は回復基調にあります。

欧州市場は、主要各国でロックダウンが相次ぎ、一進一退の状況が続きました。ドイツやフランスなどの主要国市場を中心に、第3四半期までの需要は概ね前年並みの水準で推移しましたが、第4四半期に入り、欧州各国で感染が再拡大して進行中のプロジェクトの多くが延期になるなど、不安定な状況が続いています。

世界に先駆けてコロナ禍が収束した当期の中国市場は、一昨年の低迷から転じて好調に推移しました。特に冷凍食品や即席めん、調理済食品など家庭内で消費する食品のセグメントの好調が顕著でした。一方、中国以外のアジア市場は、年度当初から主要各国で新型コロナウイルス対策による経済活動の停滞が相次ぎ、低迷しました。

新型コロナウイルスのパンデミックは、生産ラインの無人化・省人化を加速すると予測しています。複雑な作業と高度な判断が必要な品質検査工程には、無人化の余地がまだ多く残っており、ニーズの高まりを追い風に、より高度で洗練された自動化ソリューションを提案していきます。

医薬品の市場では、食品市場にも増して厳格な品質保証が求められます。

アンリツは半世紀以上前から医薬品製造業のお客さまに重量選別機などの検査機器を提供しており、日本国内においては豊富な実績を有していますが、海外の医薬品市場での知名度は高くありません。

世界的な医薬品企業の多くは、米国、欧州、中国およびインドなどを本拠地としており、今後これらの市場に向けて事業を拡大していく方針です。

2020年度の振り返り

GLP2020の期間中に販売を開始した主な新製品は次の通りです。

食品市場に向けた主な新製品

- 生産や品質の状況が見える化し、生産性向上に貢献する総合品質管理・制御システム「QUICCA3」
- 異物検出性能を大幅に高めたデュアルエナジーセンサX線検査機「KXE7522」

PQA事業

- 食品原材料に混入した金属異物を工程内で検出して排除する「M6-hシリーズ落下型金属検出機」

また、食品のロングライフ化にともなって高まっている包装不良検査のニーズにお応えするべく、封止部への内容物のかみこみ現象の検査に特化したX線検査機の販売促進に努めました。



総合品質管理・制御システム
「QUICCA3」



デュアルエナジーセンサ
X線検査機
「KXE7522」



M6-hシリーズ
落下型金属検出機
「KDS0010VNW」

医薬品市場向けの主な新製品

- 医薬品市場向けに錠剤やカプセルの異物混入検査に特化した金属検出機「KDS1004PSW」
- 医薬品向け総合品質管理・制御システム「Quicca Pharma」
- 医薬品に求められるトレーサビリティに対応した「GS1捺印検査機能付きオートチェッカ」

PQA事業をグローバルに成長させることを目指し、世界各地の多様なニーズに迅速かつ柔軟に対応できる体制づくりを進めてきましたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響



錠剤・カプセル用金属検出機
「KDS1004PSW」



医薬品向け
総合品質管理・制御システム
「Quicca Pharma」



GS1捺印・検査機能付き
オートチェッカ

もあり、計画は遅れ気味です。GLP2020で宣言した目標には残念ながら期間内に到達できませんでした。

計画当初に掲げた3つの方針、「世界No.1性能機器の継続投入」、「グローバル企業への変革」、「医薬品市場参入」を強力に推進するために大幅な組織変更を行いました。新たな体制のもとアンリツグループが保有する技術や人財などの経営資源をフルに活用してグローバル化とイノベーションを加速していきます。

成長戦略

GLP2023の基本方針

4月からスタートしたGLP2023において、PQA事業は「持続可能な未来へ向け、世界中のお客さまから最も信頼される品質保証のFirst-to-Callカンパニーになる」ことをビジョンに掲げ、2023年度までにセグメント売上高270億円、営業利益率10%を目標に掲げました。

“「はかる」を超える。限界を超える。共に持続可能な未来へ。”のグループ経営ビジョンのもと、強みであるインラインでの品質検査技術に、人工知能やIoTなどの先端技術や革新的なサービスを掛け合わせ、「お客さまの品質保証活動をトータルにサポートするソリューション」を創造します。

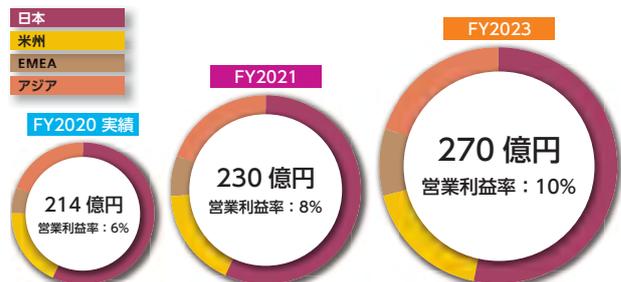
新たなセンシングや情報システム、および医薬品市場に向けた戦略商品の開発の投資比率を高めます。

また、世界各地のお客さまの声を直に聞き、要望にマッチする商品とサービスを現地で迅速に提供する体制を充実させていきます。

食品製造分野で培ってきた「品質保証」の技術とノウハウを、医薬品分野に応用し医薬品市場をPQA事業の第二の柱とすることを目指します。

■ PQA事業：GLP2023売上高・営業利益計画

- お客様企業の重要課題を解消するソリューションの創造
- はかるを超える価値創造、世界各地ニーズに的確で迅速対応
- X線検査機の高度化、医薬品市場拡大と業務革新で利益体質



人財採用・育成

GLP2023を強力に推進していくために、課題である非破壊センシング、深層学習などの人工知能、画像処理や信号処理、IoTなどの先端技術に携わる技術者を積極的に採用していきます。

自社開発にこだわらず、社外の研究機関と広く交流することで人と技術の成長を促します。

外部団体との関わり、トップ企業との協業について

アンリツは、お客さま企業やその業界でビジネスを営んでいる他社との協業を積極的に進めています。PQAは、日本国内では「(社)日本計量機器工業連合会」や「(社)日本検査機器工業会」、「(社)日本包装機械工業会」など20以上の工業会に加盟しているほか、米国で900社以上が加盟する「PMMI (Packaging Machinery Manufacturers Institute)」等に加盟しています。

加盟団体の活動に積極的に参画することで業界やお客さまの課題に触れて理解を深めるとともに、業界をリードする企業や研究機関と連携してこれら課題の克服に貢献しています。

PQA事業が取り組むSDGs

誰もが安全で健康的な暮らしを享受できる社会の実現は人類共通の願いです。限りある資源を持続可能な方法で有効に活用し、安全でおいしく長持ちする食品に加工する技術を発達させることで、飢餓に苦しむ人々を少しでも減らしていきたいと願っています。

これからもアンリツのPQAソリューションは、「安全で安心できる食品や医薬品の安定供給」や「食品ロスをはじめとするSDGsへの積極的な取り組み」を通じて、誰もがいつまでも健康に暮らせる社会の実現に貢献していきます。

社会課題の解決



食品・医薬品の品質保証の高度化を通じて、

- ・安全で安心して暮らせる社会
- ・食品ロスの少ない持続可能な社会



お客さま



アンリツ



強み

- ・生産ライン上での高速・高精度な品質検査技術
- ・多様な食品製造環境に検査機を適応させるエンジニアリング力
- ・日本国内の充実した保守サービス体制と熟練した保守エンジニア
- ・日本国内の食品検査市場における実績とトップクラスの市場地位